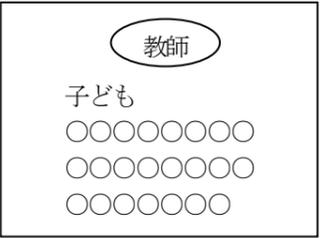
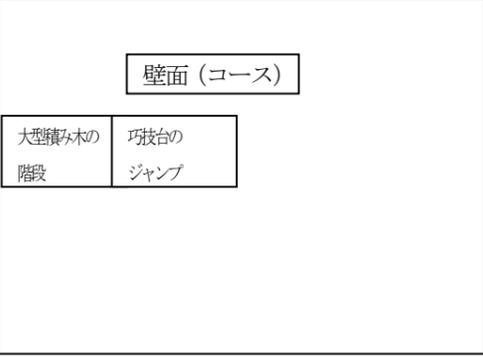
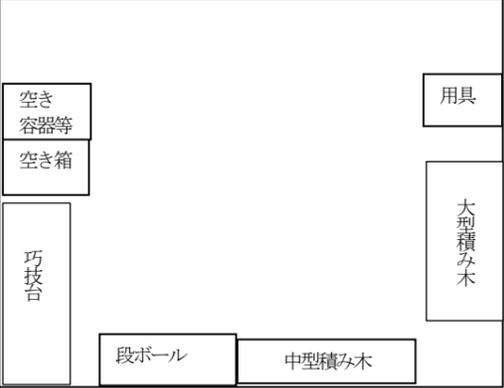


ねらいと内容 ねらい〔○〕 内容〔・〕	○ いろいろな素材を使い、自分のイメージを実現するために「試行錯誤」（考えたり、試したり、工夫したり、表現したり）しながら遊び、達成感や充実感を味わう <ul style="list-style-type: none"> ・ 転がす遊びに興味をもち、何がどのように転がるか、自分なりの考えをもって遊ぶ（考える） ・ 気付いたり発見したりしたことを試したり、工夫したりする（試す、工夫する） ・ 転がるイメージを表現したり、自分の考えを友達や教師に伝えたりする（表現する） 	準備物	素 材	・紙（新聞紙、花紙、広告紙、ティッシュペーパー） ・紙コップ ・段ボール ・空き箱 ・空容器 ・芯（トイレットペーパー等） ・ペットボトルの蓋 ・ストロー ・モール ・ビニールホース ・紙テープ ・PEカラー平テープ ・画用紙 ・色画用紙
			遊 具	・大型積み木 ・中型積み木 ・巧技台 ・マット
			用 具	・セロハンテープ ・ガムテープ ・養生テープ ・ビニールテープ ・両面テープ ・のり ・ボンド ・はさみ ・段ボールカッター ・油性ペン ・水性ペン ・画板 ・目打ち
			その他	・製作ワゴン ・分類表示 ・絵本 ・ペープサート ・壁面

事前準備	場所〔◎〕活動〔・〕
<p>場や空間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が安心して活動できるように、日頃から慣れ親しんでいる場所（ホール）で行う ・ 安全に遊びを展開するために、周りの遊びとの距離など十分な場所や空間を確保する <p>素材や用具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な素材や用具を選定し、準備する ・ 幼児が自ら考え、選択できるようにいろいろな素材や用具を準備する ・ 幼児が慣れ親しんでいる素材や用具を準備することで、安心して活動に取り組めるようにする ・ 幼児の発達段階や経験に応じて、扱いやすく、使いこなせることができる素材や用具を準備する ・ いろいろな素材や用具の置き場所に表示を付ける等、何がどこにあるのかを分かりやすく分類して示す ・ 必要に応じて自分で出し入れして使うことができるように、見えやすい位置に配置する <p>見通しがもてる環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びのイメージが広がったり、真似をしてみたくなったりするように、導入で使用する絵本の場面絵を置く ・ 幼児に興味や関心をもち、やってみたくなるような転がすものや坂道の見本を用意しておく <p>振り返りやすい環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えたことや作ったものを、活動の後も継続して見ることができるようにする（置いておける場の確保・ホワイトボード・掲示台での表示） ・ 自分の考えや友達の考えに、視覚的に気付けるようにする（ホワイトボード・紙の表示） 	<p>◎ 配置図（保育室）1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本の読み聞かせ  <p>◎ 配置図（ホール）1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転がる表現遊び  <p>◎ 配置図（ホール）2日目以降</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 転がし遊び 

〇月〇日 (〇)

時間	主な活動	予想される「試行錯誤」する幼児の姿 (考) 考える, (試) 試す, (工) 工夫する, (表) 表現する	試行錯誤の視点	援助	環境構成
9:30	○ 絵本『あそぼ』『ころころころ』を見る ・ 絵本の感想を話す	○ 興味関心をもつ ・ ものが転がるイメージをもち, 言葉や動きにする 「ころころ…」 ・ 感じたことを言葉にする 「すべり台の道が楽しそう」 「ころころ音が鳴ってるんじゃない?」		○ 絵本でいろいろな道を転がっている玉の動きを見て, 幼児がその動きを感じ取りイメージできるようにする ア-① ・ 幼児のつぶやきや表情を受け止める ・ 玉が転がるおもしろさや, いろいろな道があったことなど, 幼児が感じたことをクラスの友達で共有しながら, 振り返る	
9:50	○ ころちゃん (ペープサート) と冒険に行く (ホールに移動する) ○ 体を動かして転がる様子を表現する ・ 絵本の場面 ・ 幼児の考えた場面	○ 転がる表現を楽しむ ・ いろいろな坂道を想像して, 表現する 「目が回りそう」 「ジャンプしたい」		○ 幼児が冒険のイメージを膨らませるよう, 語りかけ雰囲気をつくる ○ 幼児がころちゃん (ペープサート) と一緒に転がる表現を楽しみ, いろいろな道を転がっている気持ちを味わえるようにする ア-① ・ 幼児と転がってみたい道を絵本や想像から選んで, 転がる表現を共に楽しむ	○ 幼児が期待感をふくらませるよう, ホールの入口に階段やジャンプ台を構成する イ-① ○ 幼児が絵本の場面を思い出したり, 想像したりできるように絵やホワイトボードに転がる道をかいて表示する イ-①
10:10	○ ころちゃん (ペープサート) との冒険を振り返る	○ 転がし遊びに見通しをもつ(考) (表) ・ 経験したことや想像したこと, 考えたことを話し, 転がるイメージをもつ 「ボールみたいに丸いものもいいよ」 ・ 明日の転がし遊びに期待をもち, 言葉にする 「おもしろい道を作りたいな」	考える 表現する	○ どんなもので転がるものや道を作ったらよいか, 幼児と考えを出し合う ア-③ ・ 幼児の作りたい, 遊びたいと思っているイメージを聞き, イメージの広がりを紹介し, 他の幼児がイメージをもちやすくする	○ 幼児の言葉を図にかいたり, 絵本の場面などを示したりして, 幼児同士がイメージを共有しやすくする イ-④
10:15	○ 片付ける				

〇月〇日 (〇) 〇日 (〇) 〇日 (〇) 〇日 (〇)

時間	主な活動	予想される「試行錯誤」する幼児の姿	試行錯誤の視点	援助	環境構成
〈導入〉 〇日のみ 9:30	○ 保育室で本時の活動について話を聞く ○ ホールに移動する ・ いろいろな素材や道具を使って作ることを知る	○ 転がし遊びに興味・関心をもつ(考) (表) ・ 転がすものを作ることを知る 「紙を丸めたらいいかも」 ・ 転がる道を作ることを知る 「どんどん長くしたい」 ・ いろいろな素材や道具から, イメージをもつ 「～を使ったらいいかも」 「できるかな?」	考える 表現する	○ 前回, 幼児が転がし遊びについて考えたことを想起させる話から, 今日の活動に興味・関心をもたせる ア-① ・ 幼児が考えていることを受け止める 「やってみたいね」 「楽しみだね」 ・ 幼児に素材や道具を確認させることで, 幼児のイメージが広がるようにする 「いつもは砂場で使っているけど, ホールでも桶が使えるよ」 「作っている時, 難しいことがあったら, 友達や先生と一緒に考えてみようね」	○ 幼児には, 片付けの時刻を事前に知らせ, 時刻の目安をもって遊べるようにする (時計の表示) ○ 幼児がイメージした空間で製作できるように, ホールであればどこでも製作できるようにする ○ 初めて使う素材や用具等は, 状況を見ながら出し, 安全な扱い方を知らせる ○ 多様な種類の素材を準備し, 幼児が遊びに必要なものを選び, 使えるようにする イ-②, ③
〈導入〉 〇～〇日 9:30	○ 保育室で本時の活動について話を聞く	○ 前回までの転がし遊びを振り返る(考) (表) ・ 今日したいことを思い出す 「まだまだ, おもしろい道にしたいな」 ・ みんなの前で話す 「壊れそうなところを修理する」 「～のコースにして, 転がしてみたい」	考える 表現する	○ 前回の転がし遊びを通して, 幼児が考えたり, 試したり, 工夫したり, 表現したりしていた場面を, 具体的に想起させ, 見通しをもたせる ア-①, ③, ④ ・ 幼児の考えていることを明確にする 「～と考えているんだね」 ・ 諦めないで試す姿を振り返り認める 「どんどん, おもしろくなってきているね」 ・ 幼児が工夫したいことを, 分かりやすく図や絵などで示す 「今日は～してみるんだね」 ・ 幼児が友達と一緒に期待をふくらませられるようにする 「友達と一緒にアイデアを出しているね」	○ 遊びの過程が見えるよう, 必要に応じて幼児の考えを分かりやすく絵や言葉で表示する イ-④, ⑤

	<ul style="list-style-type: none"> ○ ホールに移動する <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回までの転がる道や、必要なものを準備する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 転がし遊びの準備をする(考) (試) (表) <ul style="list-style-type: none"> 「～があったらいいかもしれない」 「やっぱり～を使ってみようかな」 	<p>考える 試す 表現する</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊びの動線を予想し、幼児が遊びを工夫したり、思いを実現したりできるようなスペースを確保する イ-①
<p>(展開) 9:40</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「転がし遊び」をする <ul style="list-style-type: none"> ・ 転がるものや坂道を見つけたり作ったりする ・ 転がして遊ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味関心をもって転がす(試) <ul style="list-style-type: none"> ・ 作ったものや見付けたものを転がすとどうなるか、期待して、転がしてみる ・ どんな風に転がるか期待して、転がる道を作る <ul style="list-style-type: none"> 「どんな風に転がるかやってみよう」 「やってみたい」 ○ 転がして、気付く(考) (試) (表) <ul style="list-style-type: none"> 「おもしろい転がり方をするな」 「ぼくの方が遠くまで転がったぞ」 ○ いろいろなものを比べて、気付いたり考えたりする (考) (試) (表) <ul style="list-style-type: none"> 「速く転がるといいな」 「どんぐりとこのペットボトル、どっちが速く転がるかな」 ○ イメージをもち、どうすれば実現できるか考える (考) (試) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の実現したいイメージをもつ(速く転がるコース、長く転がるコース、ジグザグ・ジャンプ等コースの工夫など) <ul style="list-style-type: none"> 「三角の積み木で作ったらいいかもしれない」 「これを長くつなげてみよう」 「絵本みたいな〇〇みち作ってみよう」 ・ 何度も試して考える <ul style="list-style-type: none"> 「もう一回やってみよう」 ○ 友達と一緒に考えを出して試す (考) (試) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が試すのをじっと見て(感じて・考えて) いる ・ 自分や友達と目的をもち(速く・長く・落ちないように等) 転がすものや、坂道の工夫を考える <ul style="list-style-type: none"> 「どうしたら、いいかな？」 「わかった！～したらいいかもしれない」 「積み木を高くして、やってみよう」 ○ 課題が解決するように考えて工夫する(考) (工) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 転がしながら、イメージが実現するように考えている <ul style="list-style-type: none"> 「もう一つ高くしたらもっと～するかもしれない」 ・ 自分や友達との目的を明確にしている <ul style="list-style-type: none"> 「すべり台の道をジャンプさせてるんだよ」 	<p>試す</p> <p>考える 試す 表現する</p> <p>考える 試す 表現する</p> <p>考える 試す 表現する</p> <p>考える 試す 表現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児の気持ちや考えを受け止め、幼児の主體的な動きを大切に する ア-① <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が考えたことを受け止め、見守る ・ 幼児が対象物に興味をもったり、気付いたり、発見したりしたこと等の思いを受け入れ、共感する <ul style="list-style-type: none"> 「その考えいいね」 ○ 幼児が試したい意欲を引き出す ア-② <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師も素材に触れて、幼児とともに興味関心をもって関わる「これを使ったら、道になるかな？」 ○ 幼児が見付けた考えや思いを受け止め、幼児が実現したいことを理解し、見守る ア-①, ② <ul style="list-style-type: none"> ・ 何におもしろさを感じて遊んでいるかを理解しようと観る ・ 感じていることを受け止め、幼児がしていることを観る ○ 幼児が遊びに十分入り込める状況をつくる ア-①, ② <ul style="list-style-type: none"> 「速く転がるといいね」 「どっちが速く転がるかな？」 ○ 新たな気付きや意欲、イメージが生み出される状況をつくる ア-②, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 「どうしたら～になるか」「～したから～になった」と遊びながら気付かせる言葉をかける ・ わかったことや予想したことをつかってみたらどうなるか、教師も仲間になって関わり、幼児とともに期待をふくらませる ・ 幼児の考えを認め、自分で考える楽しさや面白さを味わえるようにさせる <ul style="list-style-type: none"> 「～(考え) とひらめいたね」 ○ 幼児の考えを言葉にして意図を明確にし、友達と共有させる ア-②, ③ <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの過程や、幼児の考えから実現したいことを受け止める <ul style="list-style-type: none"> 「～ということ？」 ・ 幼児の実現したいことから、具体的に考え、工夫できるようにする <ul style="list-style-type: none"> 「～しようと考えているんだね」 ・ いろいろな考えがあることに気付かせる <ul style="list-style-type: none"> 「～する考えや、～する考えもあるね」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な種類の素材を準備し、幼児が遊びに必要なものを選び、使えるようにする イ-②, ③ ○ 幼児とともに必要なものを準備する イ-① <ul style="list-style-type: none"> 「長い道になるものを、見付けよう」 ○ 幼児が遊びをじっくり試せるように、幼児の動線や遊びの空間を確保する イ-① ○ 幼児の遊んでいる様子を見ながら必要に応じて、イメージが広がりやすくなるよう、素材に気付かせたり、新たな素材を出したりする イ-②, ③ ○ 転がる仕組みなど、わかったことや見付けたことを、ホワイトボードに表示し、友達と共有できるようにする イ-④ ○ 一緒に遊んでいる友達同士で、思いを共有できるように、場や空間をつくる イ-① ○ 幼児の考えを実現しようとする時に、いろいろな素材に気が付き、選ぶことができるよう、幼児の意図を理解し素材とつないでいく イ-②, ③

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 失敗することに出合って、改善しようとしている (考) (工) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ イメージが実現できないことがあり、考えている「登り坂は難しい、どうしたらいいかな」 ・ どちらがいいのか方法等比較しながらやってみる「もっと高くしたら、登り坂を駆け上がるかもしれない」「積み木1つ分高くしたらいいかな?もっているかな?」 ・ どちらがよいか比べて確かめている「比べてみよう」「高くしたら～になった」「坂道を長くしたら～になった」 	考える 工夫する 表現する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返して遊ぶ中で、転がすことを比較する体験をさせ、違いに気付いたり、新たな気付きが生まれたりするようにする ア-②, ③, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が幼児の考えに寄り添い、ともに知恵を絞る「もっとスピードがあったらいいのかな?」「さっきは、どうやったらできたかな?」 ・ 幼児のいろいろな考えを一つずつ比べられるように、教師がともに関心を寄せながら、幼児が試せるような場をつくる。「最初は～してみる?」「～と～を比べてみたら、どうなるのかな?」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 比較して、転がる違いを確かめる時は、それぞれを見合える場の工夫を行い、転がし始めるタイミングが分かるようにして、幼児が注目できるようにする。 イ-①, ④
<p>(整理) ○～○日 10:15</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 困っていることやわかったことを話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返して試して、イメージが実現できた達成感を味わっている (考) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えてできたことを伝えたり、認め合ったりしている「～したら～になって、成功したよ」「～したら～になって、おもしろかったね」「先生、見てて」「〇〇くんいい考えだね」 ○ 繰り返して試して、イメージが実現できていないが、あきらめずに取り組んでいる (考) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り返して試して、困っていることを、クラスの友達に伝える「もう少しで、できそうなんだけど」「ここが、できないんだよ」 ・ ホワイトボードの図を見て、考える「一緒に考えてみよう」「(図を見て)ここを長くしたら、高く転がるよ、きつと」「(図を見て)落ちないように、壁を作ったらいいんじゃない?」 	考える 表現する	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えたり、試したり、工夫したことを振り返り、達成感を味わえるようにする ア-③, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 考えが実現したことをともに喜び合い、幼児が達成感を味わえるようにする ・ 幼児のわかったことや伝えたいことを、クラスの友達に紹介する ○ 考えたり、試したり、工夫したりしていること(過程)を振り返り、遊んでわかったことやどうしたらよいかわからないこと(原因)を明確にする ア-①, ②, ③, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ うまくいかない原因を幼児と共に探る「何に困った?」 ・ 幼児が見付けた考えを受け止め、言葉にしながらかかめる「～したら～になると、考えてるんだね」 ○ 楽しかったことや次に試してみたいことを、クラスで共有させ、明日の遊びに期待感をもたせる ア-③, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の話聞くことで、明日の遊びへの期待や、イメージがもてるようにする ・ 友達の話聞くことで、幼児同士が刺激し合い、互いの遊びや遊び方に興味や関心がもてるようにする ○ 幼児への次の遊びへの見通しを理解しながら、期待を寄せる ア-①, ④ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「こうしたら、こうなるかも」と幼児に見通しや期待をもたせるために、遊びの過程が見えるよう、幼児の考えを図や言葉にした場をつくる イ-①, ④ <ul style="list-style-type: none"> ・ 知っていることやわかったことを、幼児が友達同士で伝え合う時間をつくる ・ 幼児が考えたことを、友達同士で共有しやすい場をつくる
<p>10:25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 片付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ○ さらによりよくなることを考え、工夫しようとする (考) (表) <ul style="list-style-type: none"> ・ 互いの考えを伝え合い、共有する「じゃあ、この中に入れて、ゴールにしたらおもしろいんじゃない?」「ここに～を作ったら、もっとおもしろくなりそう」 	考える 表現する		
<p>10:30</p>		<ul style="list-style-type: none"> ○ 友達と次の見通しをもって片付ける (考) (工) (表) <ul style="list-style-type: none"> 「また、～になるようにやってみよう」 「～して成功させたいね」 「『つづき』って書いておこう」 「この箱に入れて、なくならないようにしましょう」 	考える 工夫する 表現する		<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊びの継続ができるよう、場について幼児とともに考え、次に遊び出せる工夫をする イ-⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びの状況に応じて、遊びの場を片付けたり、残したりする ・ 素材や用具等は、明日も使えるように、幼児と一緒に分類しながら片付けをする

<p>〈整理〉 ○日 10:15</p> <p>10:30</p>	<p>○ 転がし遊びについて話し合う</p> <p>○ 片付ける</p>	<p>○ 転がし遊びで試したり工夫したりしたことを振り返る (考) (表)</p> <p>「～になって、楽しかった」 「友達と～したいと考えて協力したよ」</p> <p>○ 友達と協力して片付ける(考) (表)</p> <p>「また、～してやってみよう」</p>	<p>考える 表現する</p> <p>考える 表現する</p>	<p>○ 転がし遊びの幼児の姿を振り返り、認める。 ア-③, ④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児が見付けたことや、幼児のイメージや発想を具体的に振り返り、自分たちで遊びを進めたという充実感や楽しさを味わわせる ・ 満足のいく所までやり抜いたところが、幼児の充実感や達成感につながるようにする。 ・ 考えたり、試したり、工夫したり、表現したりした楽しさを感じさせ、違う場面でも活用できるイメージをもたせる。 <p>○ 幼児の思いを受け止めながら、遊びの場や作ったものを、幼児とともに大事に扱い整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 明日の活動の流れに配慮し、片付ける場所を指示する 	<p>○ 幼児が考えたり、試したり、工夫したり、表現したりしたことを、実物や写真で具体的に振り返られるようにする。 イ-④</p> <p>○ 遊びの継続ができるよう、場について幼児とともに考え、次に遊びだせる工夫をする イ-⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを再現しやすいように、片付ける場所を決める ・ 素材や用具等は、また使えるように、幼児と一緒に分類しながら片付けをする
---	--------------------------------------	---	---	---	--

<p>評価の観点 幼児 [☆] 教師 [★]</p>
<p>☆ いろいろな素材を使って、自分なりにイメージを実現しようとしていたか</p> <p>☆ 自分なりにイメージを実現しようとして、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりしていたか</p> <p>★ 幼児が考えたり、試したり、工夫したり、表現したりすることができる援助や環境構成を工夫できたか</p> <p>★ 幼児が気付いたり発見したりできる素材を準備し、再構成することができていたか</p>